

宮城・仙台市で「おもちの日」スペシャルイベント

お餅を食べて元気な笑顔！

全国餅工業協同組合は、宮城県仙台市内の三井アウトレットパーク仙台港で10月10日、「おもちの日」スペシャルイベントを開催しました。当日は素晴らしい青空が広がり、大勢の買い物客が訪れていました。佐藤功理事長が「パワーの出るお餅を食べて震災復興にぜひ役立ててください」と挨拶を行いイベントが幕を開けました。

会場には昔ながらの杵と臼が四セットも並び、組合の餅つき隊によって地元宮城県産のもち米「みやこがねもち」を使った餅つき大会を行いました。集まった大勢の人たちと一体になって「よいしょ！」と大声を張り上げながらお餅をつきあげました。つきあがったお餅は、からみ餅として「ずんだ」や「あんこ」で味つけされて、買い物に訪れた多くの人々に振る舞いました。子どもたちも飛び入りで参加して、重い杵を振り上げながら餅つきに挑戦。餅つきを初体験した子どもたちは「重かったけど楽しかった」「お餅はお正月の食べ物と思ってたけど、もっと食べたい」と興奮したようすでした。

メインイベントの「おもちメニュー対決SHOW!」では、2種類のおもちメニュー『餅と野菜の甘酢炒め』と『もち de 豚キムチチヂミ』がステージ上で実際に調理しました。

スペシャル応援団として登場した人気お笑いタレントのU字工事の二人が会場に会場に集まった人たちとふれあいながら楽しい応援合戦を繰り広げました。会場が笑いに包まれる中、一般の人々も審査員として試食を行い、『餅と野菜の甘酢炒め』がわずかな差で勝利しました。U字工事は「こんなに手軽でおいしいなら、いつも晩ご飯におもち料理が出てうれしいっすね!」「漫才の前にはおもちを食べて気合を入れるっぺ!」と大満足。

全国餅工業協同組合では、いろんなスポーツや運動会で汗を流すこの季節には、スポーツと健康に深い関わりを持つお餅をぜひ食べてほしいという思いから、旧体育の日の10月10日を「おもちの日」と決めました。